

29  
回  
目  
の  
伝  
統  
の  
一  
戦。

決  
勝  
の  
舞  
台  
へ



2021 J.LEAGUE  
YBC  
Levain  
CUP  
FINAL

# 2021 Jリーグ YBCルヴァンカップ

決 勝



2021.10.30 SAT 13:05 KO  
埼玉スタジアム 2002



フジテレビ系列で全国生中継





公益財団法人  
日本サッカー協会  
会長

**田嶋 幸三**  
Kohzo TASHIMA

Jリーグ YBC ルヴァンカップ決勝を開催できることを心からうれしく思います。

本大会はJリーグ開幕を1年後に控えた1992年に幕を開け、今年で30年目を迎えます。日本サッカーの三大タイトルの一つとして、また、若手選手の登竜門として多くの有能な選手を輩出してきました。本大会から日本を代表するトッププレイヤーへと成長した選手は、枚挙にいとまがないほどです。

初優勝を目指す名古屋グランパスと2017年大会以来4年ぶりの王座を狙うセレッソ大阪の顔合わせとなった今季の決勝戦。3日前に行われた天皇杯 JFA 全日本サッカー選手権大会準々決勝と同一カードということもあり、ファン・サポーター、ホームタウンの皆さんにとってもひとときわくわくの入るゲームになるでしょう。30年の大会の歴史に新たな名勝負が刻まれると共に、本大会から日本サッカーを背負っていく有望な選手が輩出されることを期待しています。

昨年はコロナ禍により、ルヴァンカップも大会方式の変更や決勝戦の延期などを余儀なくされました。それでも決勝戦までこぎつけ、素晴らしい頂上決戦が行われました。チームや関係者の努力、そして、ファン・サポーターの皆さんのご理解とご協力の賜物だと思います。

秋に入り、新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向にあり、少しずつではありますが以前の日常を取り戻しつつあります。本大会ではワクチン接種と検査を活用して日常生活の回復を目指す「ワクチン・検査パッケージ」の技術実証が行われ、約20,000人のお客さまを迎えて行われます。

スポーツを形作るのは選手や監督、審判だけではなく、ファン・サポーターの存在はチームにパワーを与え、スタジアム全体に高揚感や一体感、さらなる感動と興奮をもたらしてくれます。声による応援はできませんが、スタンドから送られる拍手と熱気は、間違いなく名古屋、C大阪両チームにとって大きな力となるはずです。

これからも新型コロナウイルスを想定したスポーツ活動の様式を実践していくことになりますが、サッカーを愛する私たちが日常生活を含めてその模範を示し、誰もが心ゆくまでスポーツを楽しめる場を広げていきましょう。

さあ、まもなく熱戦の幕が切って落とされます。両チームには、激しくリスペクトあふれるプレーで観る人たちに感動と希望をもたらしてほしいと期待しています。

最後になりましたが、長きにわたり、本大会を支えていただいているヤマザキビスケット株式会社にあらためて御礼を申し上げますとともに、中継局のフジテレビ、大会運営にご尽力いただいた埼玉県サッカー協会ほか、ボランティアの皆さま、関係者の皆さまに心からの感謝を申し上げます。



公益社団法人  
日本プロサッカーリーグ  
チェアマン

**村井 満**  
Mitsuru MURAI

29回を迎える伝統の一戦、2021 Jリーグ YBC ルヴァンカップの決勝が、ここ埼玉スタジアム 2002で開催されます。名古屋グランパスとセレッソ大阪の初顔合わせとなった今日の日を、多くの方が心待ちにしてくださっていたことでしょう。

名古屋は、AFCチャンピオンズリーグや天皇杯、そして明治安田生命J1リーグと過密な試合日程を戦い抜き、守っても攻めでも強い盤石のチーム力で、今年ついに決勝の切符をつかみ取りました。一方のC大阪は、準決勝でも決定機を逃さず最後までファイトし続ける熱い戦いを披露し、4年ぶりの制覇を目論むこの舞台に戻ってきました。秋空の下、まさに決勝の場にふさわしい両チームが繰り広げる至高の一戦に、今から心が踊ります。

昨年から続くコロナ禍において、クラブに関わる多くの方が、安全・安心な試合運営のために惜しみなく尽力いただいています。また選手たちも日々、感染対策を徹底しながら心身のコンディションをコントロールし、全力のプレーで私たちに勇気づけてくれました。本大会でも今日の決勝を無事に迎えられることは、ひとえにクラブ、選手、地域、関係する全ての方々の温かいサポートによるものです。共にサッカーを届け続けてくださったことにあらためて感謝申し上げます。

本日の決勝では「ワクチン・検査パッケージ」の技術実証にともない、ワクチン接種記録が陰性結果のいずれかを保有する方の座種（通称Vシート）を10,000席設置し、最大20,000名のお客さまをお迎えします。依然感染症の脅威は続きますが、今後再拡大した場合においても、スムーズな試合運営により少しでも安心してスタジアムにご来場いただくためのオペレーション確認の意味合いもあります。また運営体制のチェックに加え、専門家によるリスク評価と可視化により、今後のイベント運営における緩和プロセスの検証も行います。これまでファン・サポーターの皆さまにはガイドラインへの多大なご理解とご協力をいただいたことで、私たちは次のステップへの第一歩を踏み出すことができている。ぜひ、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、長きにわたり日本サッカー発展の一翼を担ってきた本大会を第1回大会より特別協賛いただいているヤマザキビスケット株式会社をはじめ、全ての関係者の皆さまのご理解とご協力に心より御礼申し上げます。スタジアムで、そしてテレビの前でぜひ、全力で走り、幾度となく立ち上がる選手たちと共に戦っていただけますと幸いです。今日の晴れ舞台が、皆さまにとっても心に残り続ける一戦となることを願ってやみません。



ヤマザキビスケット  
株式会社  
代表取締役社長

**飯島 茂彰**  
Shigeaki IIJIMA

2021年3月2日の開幕より長きに亘り多くのドラマを生んできました、本大会の最終決戦であります「2021 Jリーグ YBC ルヴァンカップ決勝」は、いよいよキックオフの笛を待つのみとなりました。本日の決勝に至るまで数々の素晴らしいプレーで私たちを魅了してきた選手、支えてきたクラブ関係者、声援を送り続けてきたサポーターの皆さまの一致団結した姿に大変感銘を受けると共に、昨年から引き続き新型コロナウイルスへの対応に最善を尽くしてくださった皆さまのおかげで、本日ここに第29回大会決勝を迎えられたことは、大変ありがたいことと感謝しております。

まずは2020年大会の決勝が新型コロナウイルスの影響により、異例の1月4日の開催となりました。その決勝を終えて今大会の3月開幕までが短期間であったこと、引き続き新型コロナウイルスへの対応を継続されていたことなど、Jリーグの皆さまにおかれましては、大変なご苦労があったことと思います。あらためて、ご尽力いただきましたことを心より御礼申し上げます。また、徹底した感染症対策を踏まえ、10月6日に豊田スタジアムで行われましたプライムステージ準決勝では、新たな試みとして、プロスポーツ界初となる「ワクチン・検査パッケージ」が導入されました。そして、本日の決勝においてもさまざまな運用時の課題を検証した上で、客数上限に1万席追加して開催される運びとなりました。サッカー、スポーツ界にとどまらず、皆が安心して楽しめる環境、社会作りを目指すJリーグの理念に基づいた、運営に携わる皆さまの強い意志に大変感銘を受けております。当社と致しましても、その一助となるべく引き続き邁進して参ります。

この度の組み合わせは、初の決勝進出となる名古屋グランパスと、2017年の勝者であるセレッソ大阪の対戦となりました。頂点を目指し戦う両クラブの選手、スタッフ、ファン・サポーターの熱い思いがぶつかり合い、フェアプレーの精神を忘れない、歴史に残る闘志あふれる攻防を見せてくれることと確信しております。また、ここ埼玉スタジアム 2002での決勝は2年ぶり7回目となり、サッカー専用スタジアムならではの臨場感を味わえる、素晴らしい会場の提供にも重ねて感謝を申し上げます。

ここに本大会が第29回大会に至る今日まで運営を支えていただいた公益財団法人日本サッカー協会ならびに公益社団法人日本プロサッカーリーグをはじめとする関係各位、また終始温かいご声援をいただいたファン・サポーターの皆さまに深く感謝申し上げます。今後のJリーグ及び日本サッカー界の益々の発展を期待し、お祈り申し上げます。



# SUMMARY

大会名称 : 2021 JリーグYBCルヴァンカップ  
主催 : 公益財団法人 日本サッカー協会、公益社団法人 日本プロサッカーリーグ  
特別協賛 : ヤマザキビスケット株式会社

## 大会概要

### 大会

JリーグYBCルヴァンカップ (J1 20 チームが参加)

### 大会方式

#### ■グループステージ

ACLに出場する4チーム(川崎F、G大阪、名古屋、C大阪)を除くJ1の16チームを4グループに分け、各グループで2回戦総当たり(ホーム&アウェイ方式)のリーグ戦を行う。各グループ上位2チームの8チームがプレーオフステージに進出する。

Aグループ(4チーム): 札幌/鹿島/福岡/鳥栖  
Bグループ(4チーム): FC東京/神戸/徳島/大分  
Cグループ(4チーム): 浦和/柏/横浜FC/湘南  
Dグループ(4チーム): 仙台/横浜FM/清水/広島  
※グループステージ各グループの組み合わせは、2020 明治安田生命J1リーグおよびJ2リーグの順位をもとに決定。

#### ■プレーオフステージ

グループステージを勝ち上がった8チームにより、ホーム&アウェイ方式の2試合を行う。プレーオフ勝者4チームがブライムステージに進出する。

#### ■ブライムステージ

プレーオフステージを勝ち上がった4チーム、およびACLに出場する4チーム(川崎F、G大阪、名古屋、C大阪)を加えた計8チームにより、ホーム&アウェイ方式のトーナメント戦を行う。(決勝は1試合のみ)  
※ブライムステージの組み合わせは、プレーオフステージ終了後に抽選で決定する。

### 開催日程

#### ■グループステージ

第1節 3月2日(火)・3月3日(水) / 第2節 3月27日(土)・3月28日(日) / 第3節 4月20日(火)・4月21日(水) / 第4節 4月28日(水) / 第5節 5月5日(水・祝) / 第6節 5月19日(水)

#### ■プレーオフステージ

6月2日(水) / 6月5日(土) / 6月6日(日) / 6月13日(日)

Aグループ1位 vs Dグループ2位  
Bグループ1位 vs Cグループ2位  
Cグループ1位 vs Bグループ2位  
Dグループ1位 vs Aグループ2位

#### ■ブライムステージ

準々決勝: 第1戦 9月1日(水) / 第2戦 9月5日(日)  
準決勝: 第1戦 10月6日(水) / 第2戦 10月10日(日)  
決勝: 10月30日(土)

## 開催概要

### ■グループステージ

90分間(前後半各45分)の試合を行い、勝敗が決しない場合は引き分けとする。

＜勝点＞勝利: 3点、引き分け: 1点、敗戦: 0点  
＜順位＞の決定＞グループステージが終了した時点で、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。  
ただし、勝点と同じ場合は、以下の順によって順位を決定する。

①勝点在同一のチーム同士で行った試合の勝点  
②勝点在同一のチーム同士で行った試合の得失点差  
③勝点在同一のチーム同士で行った試合の得点  
④勝点同一のチーム同士で行った試合のアウェイゴール

①～④を適用してもなお、順位が決定しない場合、①～④を当該チームの直接対決に限り再度適用して、最終順位が決定する。

この手順で決定に至らない場合、⑤～⑨が適用される。

⑤グループ内の全試合の得失点差 ⑥グループ内の全試合の得点 ⑦順位決定にかかわるチームが2チームのみで、その両チームがフィールド上にいる場合はPK方式  
⑧反則ポイントの少ない順 ⑨抽選

### ■プレーオフステージ

90分間(前後半各45分)の試合を行い、勝敗が決しない場合は引き分けとする。プレーオフステージの勝者は2試合の勝利数が多いチームとする。第2戦が終了した時点で、勝利数が同じ場合は、次の順によって決定する。

①2試合の得失点差  
②アウェイゴール数  
③第2戦終了時に30分間(前後半各15分)の延長戦  
※延長戦ではアウェイゴールルールは適用されない  
④PK方式(各チーム5人ずつ。勝敗が決定しない場合は、6人目以降は1人ずつで勝敗が決定するまで)

### ■ブライムステージ(準々決勝、準決勝・ホーム&アウェイ)

90分間(前後半各45分)の試合を行い、勝敗が決しない場合は引き分けとする。  
各回戦の勝者は2試合の勝利数が多いチームとする。勝利数が同じ場合は、プレーオフステージと同様の順によって決定する。

### ■決勝

90分間(前後半各45分)の試合を行い、勝敗が決しない場合は30分間(前後半各15分)の延長戦を行う。それでも勝敗が決しない場合はPK方式によって決定する。(各チーム5人ずつ。勝敗が決定しない場合は、6人目以降は1人ずつで勝敗が決定するまで)

## 表彰

### 優勝

賞金1億5千万円、  
Jリーグカップ(チェアマン杯)、  
JリーグYBCルヴァンカップ  
(パートナー杯)、  
メダル

### 2位

賞金5千万円、楯、メダル

### 3位

1クラブにつき賞金2千万円、楯

### MVP

2021 JリーグYBCルヴァンカップ優勝チームの中から、最も優勝に貢献した選手には、MVP賞として賞金100万円とクリスタルオーナメント(ティファニー社製、ヤマザキビスケット社製品1年分が贈られる)。

### NEW HERO

「ニューヒーロー賞」は、2021年JリーグYBCルヴァンカップ(グループステージ～準決勝)を通じて、最も活躍が顕著であった21歳以下(大会開幕時)の選手1名に贈られる。

### ■対象選手

・当該シーズンの12月31日において満年齢21歳以下の選手  
・第2種トップ可登録選手およびJFA・Jリーグ特別指定選手も対象  
※ただし、過去に同賞を受賞している選手は対象外とする

### ■選出方法

グループステージ～準決勝までの各試合会場における報道関係者の投票をもとに、Jリーグチェアマンを含む選考委員会において、今年度のニューヒーロー賞を選出。

### ■表彰

賞金50万円、クリスタルオーナメント、ヤマザキビスケット社製品1年分

## Jリーグの最新情報はこちらをチェック!

JリーグYBCルヴァンカップの情報ははじめ、明治安田生命J1、J2、J3リーグなど、Jリーグにまつわるすべての情報がここに。全試合日程から試合の速報、選手名鑑、フォト、動画まで公式ならではのコンテンツが満載!

## ルヴァンカップの情報は「#ルヴァンカップ」へ

Jリーグ公式  
Facebookページ  
(@jleagueofficial)

Jリーグ公式 Instagram  
(@jleaguejp)

Jリーグ公式 LINE  
(LINE ID:@j.league)

Jリーグ公式 Twitter  
(@J\_League)

## 来場者アンケートにご協力ください

Jリーグでは来場された方へのアンケートを後日メールにてご案内予定です。  
安心・安全なスタジアムを目指し、参考とさせていただきますので皆様のご協力よろしくお願いいたします。



Jリーグ公式サイト  
<https://www.jleague.jp>



# PRIME STAGE TOURNAMENT

名古屋  
過去優勝回数  
0回



C大阪  
過去優勝回数  
1回



## 21年最初の王者を懸けて

2021シーズンのファーストタイトルが決まる——。

国内三大会の一つ、Jリーグ YBC ルヴァンカップ。ファイナルの舞台に勝ち進んだのは名古屋グランパスとセレッソ大阪だ。

ともに AFC チャンピオンズリーグに参戦したため、プライムステージから登場。

名古屋は大会初制覇に、一方の C 大阪は 17 年以來 2 度目となる戴冠に王手をかけた。

Jリーグタイトルや天皇杯に先駆けて王者が決まる、ルヴァンカップファイナル。果たして聖杯を手にするのは？

### PLAY-OFF STAGE プレーオフステージ 結果

鹿島アントラーズ	3 (合計) 1 (第1戦) 2 (第2戦)	1 0 1	清水エスパルス
FC東京	4 (合計) 0 (第1戦) 4 (第2戦)	2 1 1	湘南ベルマーレ
北海道コンサドーレ札幌	4 (合計) 1 (第1戦) 3 (第2戦)	2 1 1	横浜 F・マリノス
浦和レッズ	4 (合計) 2 (第1戦) 2 (第2戦)	3 1 2	ヴィッセル神戸

### GROUP STAGE グループステージ 戦績表

Aグループ

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	鹿島アントラーズ	12	6	3	3	0	14	4	10
2	北海道コンサドーレ札幌	11	6	3	2	1	11	8	3
3	アビスパ福岡	8	6	2	2	2	10	11	-1
4	サガン鳥栖	1	6	0	1	5	5	17	-12

Bグループ

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	FC東京	12	6	3	3	0	6	2	4
2	ヴィッセル神戸	8	6	2	2	2	6	4	2
3	大分トリニータ	6	6	1	3	2	4	6	-2
4	徳島ヴォルティス	5	6	1	2	3	3	7	-4

Cグループ

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	浦和レッズ	9	6	2	3	1	7	5	2
2	湘南ベルマーレ	8	6	1	5	0	4	3	1
3	横浜FC	7	6	2	1	3	5	6	-1
4	柏レイソル	6	6	1	3	2	6	8	-2

Dグループ

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	横浜F・マリノス	14	6	4	2	0	17	4	13
2	清水エスパルス	8	6	2	2	2	7	8	-1
3	ベガルタ仙台	6	6	2	0	4	7	11	-4
4	サンフレッチェ広島	5	6	1	2	3	3	11	-8



#### 2021 ニューヒーロー賞は 鈴木彩艶 (浦和) が受賞！

グループステージから準決勝を通じて、最も活躍が顕著だった21歳以下(大会開幕時)の選手1名に贈られる「ニューヒーロー賞」は浦和レッズの鈴木彩艶が受賞。鈴木はプライムステージ4試合フルタイム出場を含め、計9試合に出場した。

©URAWA REDS



昨年から引き続きJリーグYBCルヴァンカップ決勝アンバサダーを務めている内田篤人氏。  
現役時代、鹿島アントラーズで幾多のタイトルを獲得してきた男が語る  
決勝の見どころや試合のポイントとは。

## キーマンはランゲラックと乾貴士

—昨年到现在もYBCルヴァンカップ決勝アンバサダーを務められています。決勝に向けてはどのような取り組みをされてきたのでしょうか？

決勝を中継するフジテレビの番組に出演して見どころをお伝えしたり、昨年に引き続き前夜祭へ出演したりするなど、各メディアで決勝に向けて盛り上げてきました。また、決勝当日は中継で解説を務めます。

—決勝のカードが名古屋グランパス vs セレッソ大阪に決まりました。それぞれのチームの印象は？

名古屋は守備が堅い。全員でしっかりと守備ができ、サボる選手がいない印象です。外国籍選手を含めてみんなで頑張るチームだと思います。C大阪は今季途中で監督が代わって、簡単なシーズンにはなっていないと思いますが、決勝まで来られたことは結果を残せるチャンスです。試合を決められる選手、流れを読む選手がたくさんいるので、落ち着いてゲームには入れると思っています。

—両チームそれぞれのキーマンを挙げるとすれば、どの選手になるでしょうか。

名古屋はGKのランゲラック選手でしょうか。至近距離からのシュートも遠目からのシュートも的確にセーブしてくれる。絶体絶命のピンチを救ってきたシーンを何回も見ています。彼を中心に守備の堅さは名古屋の強みの1つだと思います。うまくいかない時間帯があっても守備が安定していると流れを落ち着かせられたり、ひっくり返すこともできますから、後ろが安定していることは決勝では大きいと思います。

—そのランゲラック選手を崩す側となるC大阪のキーマンはいかでしょうか？

タレントはいっぱいますよね。清武（弘嗣）選手もいるし、乾（貴士）選手もいる。（大久保）嘉人選手もいますから。その中ではJリーグに帰ってきたばかりですし、乾選手には注目したいです。あとは、坂元（達裕）選手。彼のことは結構好きなんです。技術も高く期待している選手の1人です。ただ、吉田（豊）選手とか、成瀬（竣平）選手とか、名古屋のSBも好きなんです。

—成瀬選手のことは、昨年のU-19日本代表候補トレーニングキャンプでロールモデルコーチとして直接指導されています。

彼はボールが来る前、ボールを持った時に見ているところがいいですね。年齢的にも自信が付いてくともう一皮、もう二皮剥けると思います。タイトルを獲得すると評価も上がっていくので、彼にとっては大事な一戦になるでしょう。その意味では、キャンプのメンバーにいたC大阪の西尾（隆矢）選手も期待したいです。

## タイトルを獲らないと評価されない

—内田さんご自身もタイトルを獲得して自信を付けていったと思います。タイトルを獲得の重要性についてはいかがでしょうか？

タイトルを獲らないと選手として評価されないですから。決勝で負けると、3位だろうが、4位だろうが、1回戦負けだろうと一緒に。そこはみんな分かっていると思います。

—最後に決勝戦の展望をお聞きしたいと思います。意外にも名古屋は初の決勝進出であり、C大阪も初優勝を果たした17年以来2度目と、ファイナルの舞台の経験が少ないクラブ同士の対戦となります。

どちらのチームがボールを握るかだと思います。そこは始まってみないと分からない部分もありますが、様子を見るかもしれないし、関係なくガンガンいくかもしれない。立ち上がりの5分、10分で見たいです。主導権争いはポイントになると思います。



どちらのチームが  
ボールを握るか。  
主導権争いが  
ポイントになる

2021JリーグYBCルヴァンカップ決勝アンバサダー

**ATSUTO UCHIDA**  
内田 篤人





## 歴史が動いた。 初の聖杯をこの手に

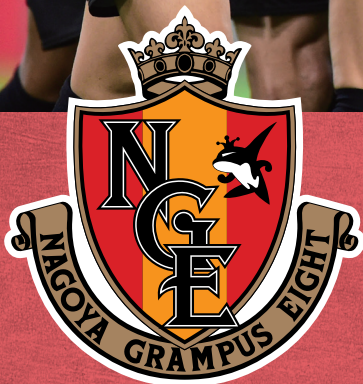
ようやくたどり着いたJリーグ YBC ルヴァンカップファイナル。Jリーグが始まる前年から行われている歴史あるこの大会で、名古屋グランパスは過去8回ベスト4で涙をのんでいた。ただ、その最後のベスト4も10年前の2011年の話。その前年には初のリーグ制覇を果たしているが、それを境に転落の一途をたどり、16年にはJ2降格を経験している。

しかし、それを機にクラブは改革に着手。その取り組みの中で観客数を圧倒的に増やし、チームはより勝利を求めるように方向づけられていく。チームやクラブ、そしてサポーターが丸となったことで、この決勝のピッチに立つ権利を得た。

今季は AFC チャンピオンズリーグに出場したことで、ルヴァンカップはブライムステージからの参戦となった。準々決勝の相手、鹿島アントラーズは苦手としてきたチームの一つ。特に1993年のJリーグ開幕戦でジーコにハットトリックを決められて以降、カシマスタジアムでの勝率は惨憺たるもの。だが今季のルヴァンカップでは、初戦のホームで2-0と優位な状況にすると、アウェイでも前半に稲垣祥が得点し、後半にはシュヴァルツォクが追加点。最後まで相手に得点を許さずに完勝し、最初の壁を打ち破った。

準決勝でもFC東京を相手に、一旦はアウェイゴールの差で逆転を許したものの、稲垣が執念で1点をもぎ取り2戦合計4-3で決勝進出を決めた。鬼門でも接戦でも最後には結果を出す、そんなメンタルの強さが今年のチームに表れている。

初の決勝進出はクラブにとって歴史的な出来事だ。しかしそれだけで満足している選手は一人もいない。「獲れる全てのタイトルが欲しい」(前田直輝)。選手だけではなく、名古屋に関わる全てのファミリーが一体となって聖杯を掲げる。(斎藤 孝一)



## 名古屋グランパス

- ホームタウン:愛知県/名古屋市、豊田市、みよし市を中心とする全県
- ホームスタジアム:豊田スタジアム
- クラブ名の由来:グランパス(GRAMPUS)は英語で名古屋のシンボル「鯨」の意味。エイト(EIGHT)は名古屋市の記章であり、末広がりを表す
- クラブカラー:レッド
- タイトル:J1リーグ 優勝1回(2010)、天皇杯2回(1995、1999)

### 番記者一ロメモ

#### え、グランパスくんが?



「グランパスガールズフェスタ」で行われた「推しメンコンテスト」。1位は3年連続でランゲラック。2位は新婚の相馬勇紀。順位を一つ落として3位に入ったのは、なんとマスコットのグランパスくん。選手以外も投票OKなんです。

#### 異例のベビーラッシュ

今年の名古屋はおめでた続き。1月5日ランゲラックに第二子となる女兒が誕生したことに始まり、宮原和也、丸山祐市、前田直輝、柿谷曜一朗、中谷進之介、米本拓司、阿部浩之、吉田豊とベビーラッシュ。決勝でパパたちの良いところが見たい!

# NAGOYA GRAMPUS



初のリーグカップ制覇へ



FW

MATEUS

マテウス



FW

YOICHIRO KAKITANI

柿谷 曜一朗



GK

LANGERAK

ランゲラック

PICK UP PLAYER

## 遅咲きの苦勞人。信頼する仲間とともに

稲垣祥を一言で表現すれば「チームにとって必要不可欠な選手」である。今季は特に自らが“大好物”と言うミドルシュートで得点を量産。持ち味である豊富な運動量で攻守に貢献し、Jリーグ YBC ルヴァンカップでは、準々決勝でも準決勝でも貴重なゴールを叩き込んだ。

稲垣は今年 29 歳で日本 A 代表デビューを飾った遅咲き。中学時代は FC 東京の下部組織に所属していたが、体も小さくユース (U-18) に昇格できなかった。しかしプロになるという夢をあきらめず、自分の武器をひたすら磨いた。それが運動量であり、ミドルシュートであり、セカンドボールへの読みだ。子どもたちが自分を見て「努力することの大切さが伝われば」とニコッと笑う。

準決勝第 2 戦のポストに体をぶつけながら決めたゴールは、チームを決勝に導く大きな得点となった。今季は稲垣がゴール前まで飛び込むシーンが何度もある。それができるのは、ピンチになっても戻れる走力に自信を持っていることもあるが、「後ろには信頼できる仲間がいるからだ」と稲垣は語る。

これまでタイトルとは無縁だった。ようやく巡ってきたこのチャンス、信頼する仲間とともに絶対につかみ獲りたいと、今日もピッチを駆け回ってくれるだろう。

(斎藤 孝一)



MF

SHO INAGAKI

稲垣 祥



## RESULTS

過去の  
ルヴァンカップ戦績

1992	ベスト 4
1993	グループリーグ敗退
1994	初戦敗退
1995	-
1996	グループリーグ敗退
1997	ベスト 4
1998	グループリーグ敗退
1999	ベスト 4
2000	ベスト 4
2001	ベスト 4
2002	グループリーグ敗退
2003	ベスト 8
2004	ベスト 4
2005	グループリーグ敗退
2006	グループリーグ敗退
2007	グループリーグ敗退
2008	ベスト 4
2009	ベスト 8
2010	グループリーグ敗退
2011	ベスト 4
2012	ベスト 8
2013	グループリーグ敗退
2014	グループリーグ敗退
2015	ベスト 8
2016	グループリーグ敗退
2017	-
2018	グループリーグ敗退
2019	ベスト 8
2020	ベスト 8

## 今季公式戦結果

23勝 7分 10敗

52得点 29失点

※主要三大会の結果とする。  
※10月25日時点。

## 今季公式戦チーム内 得点ランキング

順位	得点	名前
1	11	稲垣 祥
2	10	マテウス
3	6	シュヴィルツォウ
4	4	柿谷 曜一朗

※主要三大会の結果とする。  
※10月25日時点。

# 日本初タイトルへ。 カルチョの国の知将

生き馬の目を抜くような厳しいカルチョの国・イタリアで実績を積み上げてきた知将だ。指導者としてのキャリアが始まったのは33歳の時。イタリアのセリエC2(4部リーグ)のフィオレンツォーラが最初だった。そして、その手腕が認められ翌シーズンにはセリエC1(3部リーグ)のチームに招かれると、さらに2年後にはセリエBで指揮を執ることに。そのヴェローナは選手時代に5シーズンを過ごした古巣で、監督としてもチームを昇格争いさせるまでに引き上げた。

そして2007年、ついにトップリーグ、セリエAのレッジーナへとステップアップする。10年にはチェゼーナの監督に就任し、日本代表の長友佑都を獲得。長友のイタリアでの成功に深く関与した。

セリエAでの優勝経験こそないが、チーム再建には定評を持つ叩き上げの指揮官。14年にFC東京の監督に就任すると、サガン鳥栖を経て19年の途中から名古屋グランパスの指揮官となった。それまで成績不振で苦しんでいた名古屋を残留させると、翌年からは本格的にチーム改造に着手。「まずは一人のアスリートであるべき」と、徹底的なフィジカルトレーニングで選手を鍛え上げ、それまで希薄だった守備の意識を植え付けた。そして、その効果はすぐに表れ、昨季は28失点とリーグ最少。今季も9試合連続無失点、連続無失点時間823分など守備の記録を次々と打ち立てている。

ただ、選手が口々に感謝するのは「戦う姿勢をもたらせてくれた」というスポーツの根幹的な部分。もちろんそれだけでは勝てず、緻密な分析やポジショニングの徹底、リスク管理など、イタリア時代に培ったノウハウがチームの勝利に大きく影響を及ぼしている。日本で指揮を執って8年。初めて日本のタイトルをつかむチャンスがやって来た。(斎藤 孝一)



MANAGER

MASSIMO  
FICCADENTI

マッシモ フィッカデンティ

1967年11月6日生まれ、54歳。  
国籍：イタリア

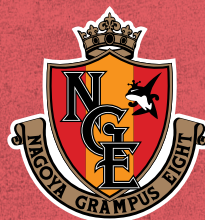
NAGOYA GRAMPUS



# PLAYERS FILE

## 名古屋グランパス 選手リスト

- ① 生年月日
- ② 身長 / 体重
- ③ 出生地
- ④ 前所属クラブ
- ⑤ 今季J1出場 / 得点数
- ⑥ 今季ルヴァンカップ出場数 / 得点数
- ⑦ ストロングポイント



### GK ゴールキーパー

<b>1</b>  <b>ランゲラック</b> LANGERAK ① 1988/08/22 ② 193/80 ③ オーストラリア ④ レンテUD / スペイン ⑤ 33/0 ⑥ 4/0 ⑦ 超絶反応のゴールセーブ	<b>18</b>  <b>渋谷 飛翔</b> Tsubasa SHIBUYA ① 1995/01/27 ② 189/88 ③ 東京都 ④ 横浜FC ⑤ 0/0 ⑥ 0/0 ⑦ 攻撃に転ずるロングスロー	<b>21</b>  <b>武田 洋平</b> Yohei TAKEDA ① 1987/06/30 ② 190/83 ③ 大阪府 ④ 大分トリニータ ⑤ 0/0 ⑥ 0/0 ⑦ 抜群の安定感と不動心	<b>22</b>  <b>三井 大輝</b> Daiki MITSUI ① 2001/05/27 ② 188/85 ③ 愛知県 ④ 名古屋グランパス U-18 ⑤ 0/0 ⑥ 0/0 ⑦ ビルドアップと元気さ
--	---	---	---

### DF ディフェンダー

<b>3</b>  <b>丸山 祐市</b> Yuichi MARYAMA ① 1989/06/16 ② 184/77 ③ 東京都 ④ FC東京 ⑤ 17/1 ⑥ 0/0 ⑦ チームをまとめる主将魂	<b>4</b>  <b>中谷 進之介</b> Shinnosuke NAKATANI ① 1996/03/24 ② 183/79 ③ 千葉県 ④ 柏レイソル ⑤ 32/1 ⑥ 4/0 ⑦ クレバーさとフィード能力	<b>6</b>  <b>宮原 和也</b> Kazuya MIYAHARA ① 1996/03/22 ② 172/67 ③ 広島県 ④ サンフレッチェ広島 ⑤ 21/0 ⑥ 1/0 ⑦ リング屈指の対人の強さ	<b>13</b>  <b>藤井 陽也</b> Haruya FUJII ① 2000/12/26 ② 187/79 ③ 愛知県 ④ 名古屋グランパス U-18 ⑤ 4/0 ⑥ 0/0 ⑦ 高ささとさわやかな笑顔	<b>14</b>  <b>木本 泰生</b> Yasuki KIMOTO ① 1993/08/06 ② 183/78 ③ 静岡県 ④ セレッソ大阪 ⑤ 27/0 ⑥ 4/1 ⑦ 強靱なフィジカルと高さ
<b>17</b>  <b>森下 龍矢</b> Ryoa MORISHITA ① 1997/04/11 ② 170/65 ③ 静岡県 ④ サガン鳥栖 ⑤ 17/0 ⑥ 4/0 ⑦ スプリント力とスピード	<b>20</b>  <b>キム ミンテ</b> KIM Min Tae ① 1993/11/26 ② 187/84 ③ 大韓民国 ④ 北海道コンサドーレ札幌 ⑤ 8/1 ⑥ 4/0 ⑦ 闘争心とビルドアップ	<b>23</b>  <b>吉田 豊</b> Yutaka YOSHIDA ① 1990/02/17 ② 167/72 ③ 静岡県 ④ サガン鳥栖 ⑤ 33/1 ⑥ 4/0 ⑦ ボール奪取時の体の入れ方	<b>26</b>  <b>成瀬 竣平</b> Shumpei NARUSE ① 2001/01/17 ② 166/63 ③ 愛知県 ④ 名古屋グランパス U-18 ⑤ 18/0 ⑥ 2/0 ⑦ 攻撃参加のタイミング	<b>28</b>  <b>吉田 晃</b> Akira YOSHIDA ① 2001/07/09 ② 184/71 ③ 福岡県 ④ 九州国際大付属高 ⑤ 0/0 ⑥ 0/0 ⑦ 並外れた高さでキャパ

### MF ミッドフィールダー

<b>2</b>  <b>米本 拓司</b> Takuji YONEMOTO ① 1990/12/03 ② 177/72 ③ 兵庫県 ④ FC東京 ⑤ 28/0 ⑥ 2/0 ⑦ ボールを奪い取る能力	<b>5</b>  <b>長澤 和輝</b> Kazuki NAGASAWA ① 1991/12/16 ② 172/70 ③ 千葉県 ④ 浦和レッズ ⑤ 28/0 ⑥ 0/0 ⑦ 攻守でのバランス感覚	<b>7</b>  <b>阿部 浩之</b> Hiroyuki ABE ① 1989/07/05 ② 170/67 ③ 奈良県 ④ 川崎フロンターレ ⑤ 28/0 ⑥ 0/0 ⑦ シュートの美しさと正確性	<b>15</b>  <b>稲垣 祥</b> Sho INAGAKI ① 1991/12/25 ② 175/70 ③ 東京都 ④ サンフレッチェ広島 ⑤ 33/8 ⑥ 4/3 ⑦ 無尽蔵のスタミナと献身的	<b>24</b>  <b>石田 凌太郎</b> Ryotaro ISHIDA ① 2001/12/13 ② 176/71 ③ 神奈川県 ④ 名古屋グランパス U-18 ⑤ 0/0 ⑥ 0/0 ⑦ 一気な攻撃力
<b>30</b>  <b>甲田 英将</b> Hidemasa KODAMA ① 2003/10/02 ② 166/64 ③ 三重県 ④ 名古屋グランパス U-15 ⑤ 0/0 ⑥ 0/0 ⑦ 笑顔で抜く悪魔のドリブル	<b>31</b>  <b>吉田 温紀</b> Haruki YOSHIDA ① 2003/04/29 ② 180/70 ③ 三重県 ④ 名古屋グランパス U-15 ⑤ 0/0 ⑥ 0/0 ⑦ 守備の強さとパスセンス			

### FW フォワード

<b>8</b>  <b>柿谷 曜一朗</b> Yoichiro KAKITANI ① 1990/01/03 ② 177/68 ③ 大阪府 ④ セレッソ大阪 ⑤ 31/2 ⑥ 4/2 ⑦ 独創性と献身的な守備	<b>9</b>  <b>山崎 凌吾</b> Ryogo YAMASAKI ① 1992/09/20 ② 187/82 ③ 岡山県 ④ 湘南ベルマーレ ⑤ 21/3 ⑥ 0/0 ⑦ ボールを収め切る力	<b>10</b>  <b>ガブリエル シャビエル</b> GABRIEL XAVIER ① 1993/07/15 ② 169/68 ③ ブラジル ④ クルゼイロEC / ブラジル ⑤ 17/0 ⑥ 3/0 ⑦ 得点に直結させるキック	<b>11</b>  <b>相馬 勇紀</b> Yuki SOMA ① 1997/02/25 ② 166/69 ③ 東京都 ④ 鹿島アントラーズ ⑤ 28/2 ⑥ 3/0 ⑦ 観戦者で敵の逆を奪う	<b>16</b>  <b>マテウス</b> MATEUS ① 1994/09/11 ② 167/70 ③ ブラジル ④ 横浜F・マリノス ⑤ 33/7 ⑥ 4/1 ⑦ 強烈な左足のキックと精度
<b>19</b>  <b>齋藤 学</b> Manabu SAITO ① 1990/04/04 ② 169/66 ③ 神奈川県 ④ 川崎フロンターレ ⑤ 21/0 ⑥ 0/0 ⑦ ドリブルと味方への鼓舞	<b>25</b>  <b>前田 直輝</b> Naoki MAEDA ① 1994/11/17 ② 177/72 ③ 埼玉県 ④ 松本山雅FC ⑤ 29/3 ⑥ 4/0 ⑦ 積極的な仕掛けと向上心	<b>40</b>  <b>シュヴィルツォク</b> Jakub Jan SWIERCZOK ① 1992/12/28 ② 184/86 ③ ポーランド ④ ピアストグリヴィツェ / ポーランド ⑤ 10/4 ⑥ 2/1 ⑦ 決定的ゴール前の逸力	<b>44</b>  <b>金崎 夢生</b> Mu KANAZAKI ① 1989/02/16 ② 180/70 ③ 三重県 ④ サガン鳥栖 ⑤ 5/1 ⑥ 3/0 ⑦ 体の強さと決定力	



# ア セレッソ新時代を 告げる タイトルを



## セレッソ大阪

- ホームタウン：大阪府／大阪市、堺市
- ホームスタジアム：ヤンマースタジアム長居、ヨドコウ桜スタジアム
- クラブ名の由来：セレッソ (CEREZO) はスペイン語で大阪市の花である「桜」の意味。大阪府を、そして日本を代表するチームに育つよう願いが込められている。
- クラブカラー：ピンク
- タイトル：リーグカップ1回(2017)  
天皇杯1回(2017)

# CEREZO OSAKA

歓喜の初戴冠から4年。桜軍団が、再びJリーグYBCルヴァンカップファイナルの舞台に戻ってきた。AFCチャンピオンズリーグ出場の関係でブライムステージからの参戦となった今大会。ガンバ大阪との“大阪ダービー”となった準々決勝は、2戦合計4-1で突破。宿敵を倒して勢いを付けると、準決勝では浦和レッズとの激闘を制し、決勝進出を果たした。

決勝に至る過程で目立ったのは、若手選手の活躍だ。準々決勝では、ホームでの第1戦を0-1で落として迎えた敵地での第2戦。開始早々、スコアを振り出しに戻したのは21歳の山田寛人だった。続けざまにトータルスコアでの逆転弾を叩き込んだのは、24歳の加藤陸次樹。この若き2トップは準決勝でも運動。敵地での第1戦で貴重なアウェイゴールを決めたのは山田であり、第2戦では加藤の先制点が決勝点に。チームをファイナルへ導いた。CBでは、昨年のルヴァンカップでニューヒーロー賞を獲得した21歳の瀬古歩夢と、今季、リーグ戦でも開幕先発の座をつかんだ20歳の西尾隆矢が準決勝ではコンビを組み、浦和を2試合で1失点に抑えた。準々決勝では、22歳の中島元彦と21歳の喜田陽も勝ち上がりに貢献。クラブの次代を担う才能たちが次々と芽吹いた。

こうした若手選手の活躍を支えているのが、17年の歓喜を知る丸橋祐介やキム・ジンヒョンといった生え抜きのベテラン選手たち。さらにはこの夏、10年ぶりにC大阪へ復帰した乾貴士がチームを活気付け、準決勝・第2戦では、ケガでしばらく戦列を離れていた主将の清武弘嗣も復帰。チームは一段と結束力を高めている。

伸び盛りの若手選手たちが激しい主張を見せ始めた今大会。“新時代到来”を告げるタイトルを、この手につかめるか。  
(小田 尚史)

### 番記者一ロメモ



加藤 陸次樹

#### 地元で狙うタイトル

埼玉県熊谷市出身の加藤。江南南サッカー少年団、クマガヤSCでプレー。地元で自身初のタイトル獲得を目指す。



山田 寛人

#### 名古屋との意外な縁

愛知県名古屋市出身の山田。名古屋U-15のセレクション落選をその後のサッカー人生の原動力に変える。



MF

### TAKASHI INUI

乾 貴士

MF

### HIROSHI KIYOTAKE

清武 弘嗣

MF

### RIKI HARAKAWA

原川 力

PICK  
UP  
PLAYER

MF

### TATSUHIRO SAKAMOTO

坂元 達裕

#### A 代表初キャップも。初タイトル誓う成長株

浦和レッズとの準決勝・第2戦では、ピッチに立った全選手が役割を全う。会心のゲームを演じたが、中でも坂元達裕の攻守に渡る活躍が光った。ボールを受ければ確実に収め、相手を引き付け、ドリブルではがしてチャンスを作る。守備でも相手ボールホルダーへの寄せを怠らず、前からプレスをかけるとともに、攻から守へ切り替わった局面ではしっかり戻り、危険なエリアをカバーした。惜みない運動量でチームを支え、試合終了後はピッチに倒れ込んだ。

鮮烈なインパクトを残した J1 挑戦 1 年目の昨季を経て、今季は相手からのマークも厳しさを増す中、ここまで J1 リーグでは 6 得点 6 アシストを記録。目標とする「二ヶタ得点二ヶタアシスト」へ着実に近づいている。ルヴァンカップでも、準決勝・第1戦では山田寛人のアウェイゴールをアシスト。縦にも中にも行けるドリブルは、相手に常に脅威を与え、そのキックフェイントは、分かっている、対峙した DF を惑わせる。

今年は6月にA代表初キャップも刻んだ成長株。飛躍のシーズンで、自身のキャリアに加えたいのはタイトルにほかならない。プロサッカー選手としては初めて挑むファイナルの舞台で、誰よりも輝きを放ってみせる。

(小田 尚史)



# 「3つ目の星を」 情熱の生え抜き指揮官

「運命を感じています」。そう試合前に語った“初陣”は、宿敵・ガンバ大阪との“大阪ダービー”だった。監督就任からわずか2日後。J1第27節に挑んだ若き指揮官は、攻守に相手を凌駕し、敵地で見事、勝利をつかんでみせた。決勝点を決めた松田陸は一目散にベンチへ駆け出し、指揮官と熱い抱擁を交わした。チーム一体の空気を生み出したその人物こそ、レヴィー・クルビ前監督の後を受け、8月26日に急遽、セレッソ大阪の指揮官に就任した小菊昭雄監督だった。

大学卒業後の98年。C大阪でスクールのアルバイトとして指導者人生をスタートさせると、そこからスカウト担当や強化部を歴任する時期もあったが、多くのキャリアをコーチ業に捧げてきた。その間、小林伸二監督（現・北九州監督）から始まり、クルビ監督、尹晶煥監督（現・千葉監督）、ロティーナ監督（現・清水監督）ら歴代の名将の下でフットボールを学んできた。そして今季、シーズン途中での登板ではあったが、満を持してコーチから昇格する形で指揮官に就任。「魅力ある多くの監督たちの下で勉強できたことは財産。その財産をクラブに還元したい」と自身に与えられた使命を語った。

「セレッソと言えば攻撃的なサッカーが信条。ただ、私はまず守備でハードワークができない選手は使わない。攻撃力に長けた選手が守備も頑張るからこそ、チームが引き締まり、一体感が生まれる」

就任後、まずは現代サッカーに必要な不可欠な11人全員が攻守にハードワークする姿勢を求めた。さらに、前体制ではルーズになっていた戦術面でも改善を施し、攻守における規律をチームに落とし込んだ。迎えるファイナル。「クラブに3つ目の星を刻むことは私の使命」と語る熱血漢に率いられたチームが、頂点へと駆け上がる。

（小田 尚史）

## RESULTS

過去の  
ルヴァンカップ戦績

1994	初戦敗退
1995	-
1996	グループリーグ敗退
1997	グループリーグ敗退
1998	グループリーグ敗退
1999	2回戦敗退
2000	2回戦敗退
2001	初戦敗退
2002	-
2003	グループリーグ敗退
2004	グループリーグ敗退
2005	ベスト8
2006	ベスト8
2007	-
2008	-
2009	-
2010	グループリーグ敗退
2011	ベスト8
2012	ベスト8
2013	ベスト8
2014	ベスト8
2015	-
2016	-
2017	優勝
2018	ベスト8
2019	プレーオフステージ敗退
2020	ベスト8

## 今季公式戦結果

（クルビ前監督指揮試合含む）

**16勝 10分 14敗**

**54得点 47失点**

※主要三大会の結果とする。  
※10月25日時点。

## 今季公式戦チーム内 得点ランキング

順位	得点	名前
1	10	加藤 陸次樹
2	7	大久保 嘉人
3	6	坂元 達裕
4	4	チアゴ
4		清武 弘嗣

※主要三大会の結果とする。  
※10月25日時点。

MANAGER

# AKIO KOGIKU

## 小菊 昭雄

1975年7月7日生まれ、46歳。

# CEREZO SAKA



# PLAYERS FILE

## セレッソ大阪 選手リスト

- ① 生年月日
- ② 身長 / 体重
- ③ 出生地
- ④ 前所属クラブ
- ⑤ 今季J1出場 / 得点数
- ⑥ 今季ルヴァンカップ出場数 / 得点数
- ⑦ ストロングポイント



### GK ゴールキーパー

<b>21</b>  <b>キム ジンヒョン</b> KIM Jin Hyeon ① 1987/07/06 ② 192/82 ③ 大韓民国 ④ 東国大 / 大韓民国 ⑤ 33/0 ⑥ 4/0 ⑦ 抜群の反応とフィード力	<b>39</b>  <b>松原 颯汰</b> Sota MATSUBARA ① 2002/09/30 ② 181/74 ③ 大阪府 ④ ジェフユナイテッド千葉 ⑤ 0/0 ⑥ 0/0 ⑦ 俊敏性とセーブ技術	<b>50</b>  <b>松井 謙弥</b> Kenya MATSUI ① 1985/09/10 ② 187/72 ③ 静岡県 ④ 水戸ホーリーホック ⑤ 0/0 ⑥ 0/0 ⑦ 経験豊富。縦の下の力持ち	<b>48</b>  <b>春名 竜聖</b> Ryusei HARUNA ① 2004/05/01 ② 182/81 ③ 兵庫県 ④ セレッソ大阪西 U-15 ⑤ 0/0 ⑥ 0/0 ⑦ セーブ力と足元の技術	<b>49</b>  <b>下中 凌我</b> Ryoga SHIMONAKA ① 2003/06/23 ② 182/81 ③ 石川県 ④ ツエーゲン金沢 U-15 ⑤ 0/0 ⑥ 0/0 ⑦ 反応の速さ
---	---	--	--	---

### DF ディフェンダー

<div>2</div> <div></div> <div><div>松田 陸</div><div>Riku MATSUDA</div><div>① 1991/07/24</div><div>② 171/69</div><div>③ 大阪府</div><div>④ FC東京</div><div>⑤ 30/1</div><div>⑥ 3/0</div><div>⑦ アグレッシブな攻守</div></div>	<div>3</div> <div></div> <div><div>進藤 亮佑</div><div>Ryosuke SHINDO</div><div>① 1996/06/07</div><div>② 183/74</div><div>③ 北海道</div><div>④ 北海道コンサドーレ札幌</div><div>⑤ 8/2</div><div>⑥ 0/0</div><div>⑦ 神出鬼没な攻撃参加</div></div>	<div>6</div> <div></div> <div><div>チアゴ</div><div>TIAGO Pagnussat</div><div>① 1990/06/17</div><div>② 191/89</div><div>③ ブラジル</div><div>④ セアラ-SC / ブラジル</div><div>⑤ 14/4</div><div>⑥ 2/0</div><div>⑦ 打点の高いヘディング</div></div>	<div>14</div> <div></div> <div><div>丸橋 祐介</div><div>Yusuke MARUHASHI</div><div>① 1990/09/02</div><div>② 178/73</div><div>③ 大阪府</div><div>④ セレッソ大阪 U-18</div><div>⑤ 29/1</div><div>⑥ 3/0</div><div>⑦ 左足での正確なクロス</div></div>	<div>15</div> <div></div> <div><div>瀬古 歩夢</div><div>Ayumu SEKO</div><div>① 2000/06/07</div><div>② 183/72</div><div>③ 大阪府</div><div>④ セレッソ大阪 U-18</div><div>⑤ 23/0</div><div>⑥ 2/0</div><div>⑦ 一つ飛ばすビルドアップ</div></div>
<div>16</div> <div></div> <div><div>新井 直人</div><div>Naoto ARAI</div><div>① 1996/10/07</div><div>② 173/73</div><div>③ 東京都</div><div>④ アルビレックス新潟</div><div>⑤ 5/0</div><div>⑥ 0/0</div><div>⑦ マークを離さない対人守備</div></div>	<div>24</div> <div></div> <div><div>鳥海 晃司</div><div>Koji TORIUMI</div><div>① 1995/05/09</div><div>② 182/71</div><div>③ 千葉県</div><div>④ ジェフユナイテッド千葉</div><div>⑤ 3/1</div><div>⑥ 2/0</div><div>⑦ 的確なカバリング</div></div>	<div>26</div> <div></div> <div><div>小池 裕太</div><div>Yuta KOIKE</div><div>① 1996/11/06</div><div>② 170/64</div><div>③ 栃木県</div><div>④ シント＝トロイデン・ベルギー</div><div>⑤ 5/0</div><div>⑥ 1/0</div><div>⑦ 左足のキックとスピード</div></div>	<div>33</div> <div></div> <div><div>西尾 隆矢</div><div>Ryuya NISHIO</div><div>① 2001/05/16</div><div>② 180/77</div><div>③ 大阪府</div><div>④ セレッソ大阪 U-18</div><div>⑤ 26/1</div><div>⑥ 4/0</div><div>⑦ 力強い対人守備</div></div>	

### MF ミッドフィールダー

<b>4</b>  <b>原川 力</b> Riki HARAKAWA ① 1993/08/18 ② 175/72 ③ 山口県 ④ サガン鳥栖 ⑤ 24/2 ⑥ 3/0 ⑦ 正確無比なセットプレー	<b>5</b>  <b>藤田 直之</b> Naoyuki FUJITA ① 1987/06/22 ② 175/72 ③ 福岡県 ④ ヴィセル神戸 ⑤ 27/1 ⑥ 2/1 ⑦ 攻守両面のポジショニング	<b>10</b>  <b>清武 弘嗣</b> Hiroshi KIYOTAKE ① 1989/11/12 ② 172/66 ③ 大分県 ④ セビージャ・スペイン ⑤ 27/2 ⑥ 1/0 ⑦ 相手を切り裂くスペース	<b>17</b>  <b>坂元 達裕</b> Tatsuiro SAKAMOTO ① 1996/10/22 ② 170/63 ③ 東京都 ④ モンテディオ山形 ⑤ 28/6 ⑥ 4/0 ⑦ 縦横無尽のドリブル突破	<b>18</b>  <b>西川 潤</b> Jun NISHIKAWA ① 2002/02/21 ② 180/70 ③ 神奈川県 ④ 桐光学園高 ⑤ 17/0 ⑥ 1/0 ⑦ 縦への推進力
<b>19</b>  <b>為田 大貴</b> Hirotaka TAMEDA ① 1993/08/24 ② 175/72 ③ 長崎県 ④ ジェフユナイテッド千葉 ⑤ 1/0 ⑥ 1/0 ⑦ 抜けるようなドリブル突破	<b>23</b>  <b>乾 貴士</b> Takashi INUI ① 1988/06/02 ② 169/63 ③ 滋賀県 ④ SDエibar / スペイン ⑤ 7/1 ⑥ 3/0 ⑦ 細かく黏りドリブル突破	<b>25</b>  <b>奥壘 博亮</b> Hiroaki OKUNO ① 1989/08/14 ② 171/68 ③ 大阪府 ④ べガルタ仙台 ⑤ 28/2 ⑥ 3/0 ⑦ 体を張った攻守と運動量	<b>30</b>  <b>喜田 陽</b> Hinata KIDA ① 2000/07/04 ② 171/59 ③ 大阪府 ④ アビスパ福岡 ⑤ 4/0 ⑥ 2/0 ⑦ 縦に差し込むキープパス	<b>37</b>  <b>新井 晴樹</b> Haruki ARAI ① 1998/04/12 ② 170/69 ③ 埼玉県 ④ FCティアモ枚方 ⑤ 1/0 ⑥ 2/0 ⑦ 爆発的な突破力
<b>38</b>  <b>岡澤 昂星</b> Kosei OKAZAWA ① 2003/10/22 ② 165/60 ③ 大阪府 ④ セレッソ大阪西 U-15 ⑤ 0/0 ⑥ 0/0 ⑦ ボール奪取力				

### FW フォワード

<b>9</b>  <b>アダム タガート</b> ADAM TAGGART ① 1993/06/02 ② 183/69 ③ オーストラリア ④ 本郷三ツツ・ラングスタ / 大韓民国 ⑤ 12/1 ⑥ 0/0 ⑦ ゴールへの嗅覚	<b>13</b>  <b>高木 俊幸</b> Toshiyuki TAKAGI ① 1991/05/25 ② 170/64 ③ 神奈川県 ④ 浦和レッズ ⑤ 17/1 ⑥ 1/0 ⑦ カットインからのシュート	<b>20</b>  <b>大久保 嘉人</b> Yoshito OKUBO ① 1982/06/09 ② 170/73 ③ 福岡県 ④ 東京ヴェルディ ⑤ 25/6 ⑥ 4/0 ⑦ 熟練のシュート技術	<b>22</b>  <b>松田 力</b> Riku MATSUDA ① 1991/07/24 ② 175/70 ③ 大阪府 ④ ヴァンフォーレ甲府 ⑤ 16/1 ⑥ 4/1 ⑦ 強さを生かしたヘディング	<b>28</b>  <b>中島 元彦</b> Motahiko NAKAJIMA ① 1999/04/18 ② 170/66 ③ 大阪府 ④ アルビレックス新潟 ⑤ 11/2 ⑥ 2/0 ⑦ 左右両足から放つミドル
<b>29</b>  <b>加藤 陸次樹</b> Mutsuki KATO ① 1997/08/06 ② 178/69 ③ 埼玉県 ④ ツエーゲン金沢 ⑤ 30/6 ⑥ 4/2 ⑦ 背後への抜け出し	<b>32</b>  <b>豊川 雄太</b> Yuta TOYOKAWA ① 1994/09/09 ② 171/64 ③ 熊本県 ④ KASアイベン / ベルギー ⑤ 20/1 ⑥ 0/0 ⑦ 激しいプレスと裏抜け	<b>34</b>  <b>山田 寛人</b> Hiroto YAMADA ① 2000/03/07 ② 183/76 ③ 愛知県 ④ べガルタ仙台 ⑤ 10/0 ⑥ 4/2 ⑦ 収めて運べる技術		





# EVENT INFORMATION

## イベント情報

### ① ルヴァンカップサッカーパーク



ルヴァンカップキッズイレブンでおなじみのシュートゲームを決勝でも実施。

参加者にはヤマザキビスケット社製品のお菓子をプレゼント!

【実施場所】南広場

【実施時間】10:00～キックオフまで

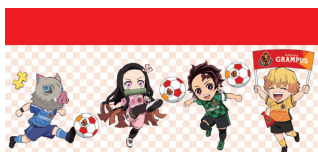
\*景品引換所はハーフタイム終了まで(但し、お菓子がなくなり次第、終了いたします)

### ② フォトスポット

鬼滅の刃とのコラボイベントとしてフォトスポットを実施。各マスコットやキャラクターと写真撮影をお楽しみ下さい!

【実施場所】南広場、北広場

【実施時間】9:00～ハーフタイム終了まで



### ③ ルヴァンカップフォトスポット



Jリーグ YBC ルヴァンカップのビクトリーロードの写真 backdrop に自由に記念撮影ができます!

【実施場所】2ヶ所(場内2Fコンコース:201ゲート付近・214ゲート付近)

【実施時間】10:00～試合終了後まで

### ④ ゲート配布

先着1万名に鬼滅の刃とのコラボクリアファイルをプレゼント!

また先着1万名の中からランダムで2,000名にYBCタオルマフラーをプレゼント致します。



### ⑤ ゲート通過音

南および北ゲートでワンタッチパスで入場する際、鬼滅の刃のあのキャラクターがお出迎えてくれる!?

### ⑥ JリーグYBCルヴァンカップ フードドライブ

Jリーグ社会連携(シャレン!)では、リーグカップパートナーのヤマザキビスケット株式会社、環境省、埼玉県、名古屋グランパス、セレッソ大阪との協働で「フードドライブ」を実施します。食品をご提供いただいた方先着1,000名に「サクスカード」をお渡しします。

提供いただいた食品は試合会場のある埼玉県および両クラブを通じてホームタウンの団体に寄付されます。

【実施場所】南広場 【実施時間】9:00～キックオフ(13:05)まで

【提供いただきたい食品】

・賞味期限が明記され、2か月以上あるもの ・常温で保存できるもの  
・未開封のもの(例:缶詰、レトルト食品、インスタント食品、お菓子、調味料など)  
※フードドライブとは家庭で余っている食品を集め、食品を必要とされる方へ寄付する活動です

ご来場者様限定!

Jリーグ公式アプリ Club J.LEAGUE  
スタジアムチェックインキャンペーン



Jリーグ公式アプリ「Club J.LEAGUE」では本日の試合使用球等が抽選で当たるキャンペーンを実施しています。

アプリでスタジアムチェックインを行い、前半キックオフまでにご応募下さい(ニュースメニュー内、またはメダルメニュー内キャンペーン一覧などからご参加いただけます)

当選者はハーフタイムにスタジアムビジョンや、アプリ PUSH 通知および、アプリニュースタブ上部のお知らせ欄にて発表いたします。(賞品は後日、登録いただいた発送先にお送りいたします)

A 賞 本日の試合使用球 1 名様

B 賞 対戦記念グッズセット 10 名様



アプリのダウンロードは  
こちらから!



### 国歌独唱歌手

### 坂本昌行さん (V6)

<プロフィール>

1995 年、V6 メンバーとして CD デビュー。TV、舞台、ラジオなど他方面で活動の場を広げ、現在は、CX「ノンストップ!」の毎週金曜日「One Dish」コーナーを担当。V6 として、全国ツアー「LIVE TOUR V6 groove」が開催中。ツアー最終日の11/1(月)は、Johnny's net オンラインにて配信も予定されている。ベストアルバム「Very6 BEST」が10/26(火)に発売。オフ・ブロードウェイ・ミュージカル「マダー・フォー・トゥー」が2022年1月8日(土)～1月23日(日) Bunkamuraシアターコクーンにて上演される他、大阪、仙台、松本で上演される。

<コメント>

歴史あるルヴァンカップの決勝で国歌独唱という大役を務めさせていただけることを心より光栄に思います。

V6 の一員として、選手の皆様、ファンの方々にとって最高の決勝になることを願い、しっかり歌わせていただきます。



### 決勝記念グッズ

今年の決勝記念グッズは、両クラブのカラーやエンブレムで対決感をあらわした決勝ならではの対戦記念デザインとなっております。

【販売場所】

南広場、2 階コンコース内グッズ売店





**5F**  
メインアッハースタント



スポーツくじの収益は、  
日本のスポーツを育てるために  
使われています。

スポーツ"く"  

すべてのスポーツにエールを

スポーツ応援サイト「GROWING byスポーツくじ(toto・BIG)」は、さまざまな競技やアスリート、そしてスポーツ振興くじ助成の活動実績などを紹介しています。

スポーツくじ GROWING

検索

⑧ 19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター





ヤマザキビスケット

いつでもおいしい  
ルヴァン プライム。

